

もくじ
contents

特集 ● 私たちの活動には課題がある ～学生ボランティアの現状と挑戦～ … 02

- ・活動の継続 ～NPO法人 チャリティーサンタ熊本支部の場合～
- ・後継者育成 ～熊本大学学生災害復旧支援団体「熊助組」の場合～
- ・活動資金の調達 ～九州がっ祭 学生実行委員会の場合～

- クローズアップ人 …………… 01
- あいずボランティアレポート …………… 06
- あいぽーとFESTIVAL …………… 08
- くまもと・わくわく基金レポート
 - わくわく基金の「その後の話」 …………… 10
 - ご協力のお礼と寄附者のご紹介 …………… 12
 - くまもと・わくわく基金のしくみ …………… 13
- アクティブNPO …………… 14
- 数字で見るあいぽーと …………… 16
- あいず川柳道場 …………… 17

●表紙について

昨年11月に実施された、ブロックでまちなかのスロープを作る実証実験の一幕から。色とりどりのブロックが目鮮やかですね。どうしてもカラーでお見せしたくて表紙に採用しちゃいました(笑)。作ったスロープはまちなかで実際に使われました。詳しくはP06をチェック!



クローズアップ人

「なにか自分ができることがあれば、じっとしてられない!」。そう語るのは、移り住んだ各地でボランティア活動に参加し続けてきた池田さん。彼女の歩んできた道と、未来への想いにクローズアップ!

— ボランティア活動との出会いは? —

夫の転勤で移り住んだ埼玉、大分での経験がきっかけです。埼玉では子育て支援の活動を、大分ではPTA活動から地域ボランティアと、様々な活動、多くの経験をさせてもらいました。ボランティア活動を通して出会った人たちから、ガイドブックや情報誌には載っていない、色々な地域の情報を教えてもらったりもしました。本当にありがとうございました。

熊本に戻ってからは看護師として復職し、クリニックや健診センターで働き始めました。その頃、私の母がやっていたフォークダンスに誘われたのが、今の活動に至るきっかけです。

— フォークダンスの魅力伝えたい! —

現在ではフォークダンスを通して、身体も心も元気になる活動を行っています。知人のドクターの誘いで心療内科での復職支援(リワーク)や、子どもデイケアなどにも携わるようになりました。

みなさんにぜひお伝えしたいのが、人が人が繋がり、心と心が触れ合えるフォークダンスの魅力です。健康増進やストレス発

— 「うきうき・わくわく」を大切に —

父の転勤で引っ越しが多かった子ども時代は、寂しさを感じることもありましたが、孤独な気持ちが分かるからこそ、自分ができること、フォークダンスを通じて力になれることがあれば、じっとしてられないんです。私の活動に、いつも理解を示してくれる家族にも感謝です。

ブルガリアで学んだこられたダンスの先生からは「うきうき・わくわくすることが大切だよ」と教わりました。そんな「うきうき・わくわく」を胸に、これからも一人でも多くの人に出会い、「元気の輪」を広げていきたいです。

新しい出会いに
「うきうき・わくわく」するのが
ボランティアの魅力!

池田千恵 さん(63)

略歴
自衛隊病院に看護師として勤務。出産を機に退職し、夫の転勤で埼玉、大分と移り住む。各地で様々なボランティア活動に出会い、熊本に戻ってからは「世界の民族舞踊ベガサス」の代表となる。現在も、フォークダンスを通じて様々なボランティア活動を行っている。

